

平成 30 年 新年のご挨拶

日本証券業協会
会長 鈴木 茂晴

平成 30 年の新年を迎えるに当たり、謹んでお慶び申し上げます。

我が国経済は、政府・日本銀行による約 5 年に及ぶアベノミクスにより、名目 GDP・企業収益が過去最高の水準に達する中、雇用・所得環境も大きく改善しました。これを受け、昨年の日経平均株価は 10 月の 16 連騰を経て、約 21 年振りに高値を更新しています。

このような流れの中、当協会としましては、我が国経済の本格的な成長路線へ結びつけるために、投資による資産形成の推進及び活力ある金融資本市場の実現に向けて、取り組んでまいります。

中でも当協会は、本年 1 月より開始された「つみたて NISA」及び「持続可能な開発目標（SDGs）」を最重要施策として取り組んでいきたいと考えております。

具体的には、若年層の中長期的な資産形成の手段として有効な制度である「つみたて NISA」について、これまで投資の一步を踏み出せなかった投資未経験の若年層に対し、普及・推進に向けた広報活動を行うとともに、制度上の必要な措置等について関係各方面に働きかけてまいります。

また、国連や政府が推進する「持続可能な開発目標（SDGs）」に関して、SDGs が掲げる社会的な課題に、証券業界を挙げて取り組んでまいります。SDGs は、国際社会全体の持続可能な開発目標として、17 の目標と 169 のターゲットで構成されています。当協会は、「証券業界における SDGs の推進に関する懇談会」を設置し、さらに本懇談会の下部に 3 つの分科会を設置して、具体的な取り組みについて検討を行ってまいります。

このほか、当協会は、我が国経済を支えるための金融資本市場の確立に貢献するため、引き続き、様々な事案に関し全力を挙げて取り組んでまいります。

最後に、皆様方の益々のご発展、ご多幸を祈念いたしまして、年頭のご挨拶いたします。

以上